

新規事業「リ・スタート事業」について

平成30年4月の練馬区社会福祉協議会と練馬区障害者就労促進協会の統合後に実施する新規事業について検討を行い、事業の方向性が定まったことで、平成29年3月から、事業を試行実施した。支援対象者6名(男性:4名、女性:2名)のうち、再就職1名、就労支援事業所2名、就職活動準備1名、他2名の結果となった。

試行により、支援対象者に対し就労・生活の支援の方向性を共有し同時進行で展開ができ、有効な支援であると確認された。

については、平成30年度から下記の通り実施する。

事業名	リ・スタート事業
事業の内容	<p>様々な理由により退職した人で、再就職に向けて生活面と就労面での支援が必要とする人を対象とし、社会生活の見直しを行い、就労等に向けた再スタートを支援する</p> <p>ア. 支援対象者の検討と関係書類の作成・検討 イ. 既存プログラムの提供と新規プログラムの検討 ウ. 外部専門員を招いての事例研究・検討会を通じた事業の充実</p>
開始時期	平成30年4月 ★初年度は4月～6月準備期間とし7月スタート 7月～12月の1クールとし、1月～3月ふりかえり検証
実施体制 ・ 実施方法	<p>委員会方式(名称:リ・スタート委員会)</p> <p><input type="checkbox"/>各部署等から1名</p> <p><input type="checkbox"/>委員全員が直接の担当者でなくても、進捗等を部署内で確認しながら委員会としてコーディネートしていく。 ※委員会で支援進捗状況を確認し、各支援者が委員会での提案を取り入れながら支援を実施し進捗等を次回委員会で報告</p> <p><input type="checkbox"/>状況により、対象者の主支援者の参加を得て意見や状況報告の機会を設ける等、適宜に対応する。</p> <p><input type="checkbox"/>コンサルテーション(外部専門家)により支援の意見・助言を受ける</p> <p><input type="checkbox"/>委員会の回数 月1回</p> <p><input type="checkbox"/>対象者と一緒にリ・スタートプランシートを作成し、様々な支援メニューを提供する。(社会生活の見直し、目標設定と具体的な取り組みを対象者と共有し計画をつくる)</p>
支援対象者 (リ・スターター)	<ul style="list-style-type: none"> 各部署等の相談からリ・スターター候補者を挙げ、委員会内で協議 おおよそ半年間1クールを基本とし4人程度の支援を想定 目標設定と進め方の確認 候補者に対して意思確認(合意形成)を行い、リ・スターターとして確定する。
支援メニュー (支援方法)	<ul style="list-style-type: none"> 現存の支援メニュー・資源の活用 地域福祉権利擁護事業(ほっと)、IMR(ういんぐ)、SST(きらら) サイコドラマ(ういんぐ)、パソコン教室(きらら・ういんぐ)、家計相談(生サポ) トライアルゼミ(きらら)、就労実習体験(きらら)、就労支援プログラム(ういんぐ) 企業実習体験(RW)、職業評価(RW)、 就職活動支援(RW)、 中間就労・就労準備支援事業・ハローワーク個別相談(生サポ) ボランティア活動等の相談・情報提供(VC) りりーふぼーと(RW・きらら) 料理教室・栄養講座(きらら)、体操(ういんぐ・きらら) 等々・・・ 新規のプログラム (グループワーク(中間ふりかえりの会)等必要に応じて検討する)